

平常時の確認事項

- 自宅の状況を確認 自宅の危険性についてハザードマップから確認しましょう。
- 浸水深 : 1.0m～3.0m未満 浸水継続時間 : 1日以上3日未満

河岸浸食は、河川の流れにより河岸が削られ土地が流出箇所です。自宅が河岸浸食のエリアにある場合は立ち退き避難が必要です。茅ヶ崎市では平太夫新田の一部に該当箇所があります。

自宅が河岸浸食のおそれがある区域にある □はい □いいえ

- 避難する場所 実際に避難した場合、どのような場所なら避難生活ができるかを考えましょう。

□浸水域外の避難所 □浸水域外にある親戚・知人の自宅 □近くの頑丈な建物 □自宅の浸水しない場所（2階など） □その他

避難する場所 : 鶴が台中学校 避難する場所までの移動時間 : 45 分。

- 避難する場所までの交通手段 交通手段 : 徒歩

- 避難する際に 支援してくれる人 名 前 : 電 話 :

気に掛ける人 名 前 : 神奈川 花子（隣のおばあちゃん） 電 話 : 0467-〇〇-〇〇〇〇

- 避難を開始するタイミング タイミング : 警戒レベル3 高齢者等避難が発令された時

- 必要な物を準備

- 非常用持出袋
- 身分証明書（運転免許証）のコピー
- 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- 非常食、飲料水（箸などを含む）
- ペット用ゲージ（ペットがいる場合）
- 持病薬、お薬手帳
- 軍手、上履き、スリッパ
- 雨具（レインコート）
- 着替え（下着を含む）
- マウスウォッシュ
- タオル、ウェットティッシュ
- 携帯電話（充電器を含む）
- 携帯ラジオ（予備電池を含む）
- 懐中電灯（予備電池を含む）
- トイレットペーパー



ポイント

「どのような施設への避難が自分にとって必要か」ということを考え、実際に避難するために「どこへ」、「誰と一緒に」、「どれぐらいの時間で」、「どのような手段で」、「何を持って」避難するかを考えましょう。

気象・行政の情報

避難のポイント

3日前

- 台風予報
・河川の氾濫が想定されうる大規模な台風の予報

- 台風に関する気象情報

24時間前

- ★豪雨災害のおそれに関する緊急会見（気象庁および国土交通省）
○レベル3大雨・氾濫・高潮警報
○レベル3土砂災害警報

警戒レベル3相当

高齢者等避難を発令（緊急速報メール）

18時間前

- レベル4大雨・氾濫・高潮危険警報
○レベル4土砂災害危険警報

警戒レベル4相当

避難指示を発令（緊急速報メール）

12時間前

- レベル5大雨・氾濫・高潮特別警報
○レベル5土砂災害特別警報（緊急速報メール）

6時間前

- 台風上陸

1時間前

- 河川が氾濫危険水位に到達（緊急速報メール）

警戒レベル5相当

緊急安全確保（緊急速報メール）
※既に河川が氾濫している可能性あり

- 実際に避難するために必要なことを考えましょう

- テレビ等で天気予報を確認
- 避難場所、避難経路の再確認
- 家族の予定の確認
- 非常用持出袋の再確認
- 持病薬の準備
- 携帯電話の充電
- 大切なものを2階に上げる
- 家の周りの側溝の清掃
- 家の周りにある風に飛ばされそうな物の片付け
- 自宅の浸水しそうな箇所に土のうの設置



ポイント

「1階が浸水する場合は物を2階に上げる」、「薬などの必要なものを準備する」、「ペットを親戚に預ける」など、必要な行動をまとめましょう。

- 避難する際の注意点を考えましょう

- 非常用持出袋を持って避難
- 近所の人に避難することを連絡
- 動きやすい服、靴を履いて避難
- 川の水位をインターネットで確認
- 戸締まり、電源ブレーカーを切る
- おじいちゃんは杖を持って避難



ポイント

避難する場所・距離などにより避難するタイミングは異なります。自宅の外に避難する場合は雨が強く降る前には、避難を開始しましょう。

ここまで避難を完了

- 避難が完了していない場合は、直ちに避難を開始してください。外に避難することでかえって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で、安全を確保してください。
- 自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

家族や親戚の情報

名前	電話番号	必需品	昼の居場所	備考
例)防 災 太郎	090-****-****	血圧を下げる薬	デイサービス	足をけがしている
茅ヶ崎 一郎	090-****-****	メガネ	会社	通勤時間30分
茅ヶ崎 友子	090-****-****		自宅	
茅ヶ崎 二郎	090-****-****	喘息の薬	〇〇中学校	
茅ヶ崎 太郎	0467-**-****	持病薬、お薬手帳	デイサービス	杖が必要

平常時に考えておく時期

雨風が強くなる前に行う時期

避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期